



Weekly News

龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2012.10.12 No.00722

R I District 2820 CLUB 50504

会 長：長友芳郎 幹 事：川上 勉 連絡先：TEL 029-863-5326 FAX 029-863-5327 <http://rcrc.web5.jp>
 事務所：〒305-0021 茨城県つくば市古来 1451 例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



本日のプログラム

【通常例会 10.12】
特別月間
職業奉仕委員会

次回のプログラム

【通常例会 10.19】
卓話:全星さん
米山奨学委員会

10月の主な行事：職業奉仕月間、米山月間

第721回例会報告

点 鐘：長友芳郎会長
 ローターソング：奉仕の理想
 ゲ ス ト：崔青花さん(元米山奨学生)
 佐藤医師(婚約中)
 ビジター：なし

会長報告：長友芳郎



■先週はガバナー公式訪問でしたが、準備していただいた皆さん参加された皆さん、大変ご苦労さまでした。
 本日はお客様がお見えです。当クラブの元米山奨学

生の崔青花さんと婚約者の佐藤さんです。ようこそ。
 今月は職業奉仕特別月間と。米山特別月間です。
 職業奉仕特別月間に関しては来週フォーラムのプログラムがあります。本日は米山特別月間のプログラムを横山さんをお願いいたします。米山特別寄付に関して皆さんにご協力をお願いいたします。

幹事報告：川上 勉



■ガバナー公式訪問の御礼がガバナー事務所から届きました。
 ■「効果的な広報のためのインターネット活用」ウェビナー参加者のための早見表引きがメールで送られてきました。

■例会変更：水海道RC より 10月17日休会します。
 (定款第6条第1節)
 ■職業奉仕研究会参考資料がメールで送られてきました。
 ■ガバナー公式訪問の月信掲載のため原稿依頼が来ます。

■本日例会終了後、定例理事会を開催します。

■ベネファクター（ロータリー財団）

遺産計画において財団の恒久基金を受益者と指定するか、同基金に1,000ドル以上を即金で寄付することにより、ベネファクターとなることができます。手続きは、遺贈について書面で財団にご通知いただくだけです。ベネファクターには次の品目が贈呈されます。

- ・記念表彰状
- ・ロータリーまたはポール・ハリス・フェローの襟ピンと共に着用できる記章
- ・感謝状

ベネファクターは、最初の寄付を行った際に表彰され、次回からの寄付に対して感謝状を受け取ります。

あなたもベネファクターに

ベネファクターとして認証を受ける方法については、国際ロータリー日本事務局財団室（03-3903-3192）までお問い合わせください。



■顧客に対する対応

あなたが提供できる最良の品質、最高の技術を提供していますか？

あなたは、礼儀正しく、正直ですか？

■従業員に対する対処

満足する報酬を与えていますか？

安全で快適な職場を提供していますか？

従業員との紛争に公正に対処していますか？

忠誠、正直、好意の手本を示していますか？

「The Rotarian」1972.9月号

本日のプログラム 米山月間に因んで



■今月は米山月間です。この米山記念奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。故・米

山梅吉翁の偉業を記念し1952年に東京RCの古沢文作氏が試案を作り、現在の米山記念奨学金が誕生しました。

第1号の奨学生は、タイのソムチャード氏であったことは有名ですが、昨年のタイ・バンコクの世界大会において、その息子さんが紹介され会場で喝采を浴びたようです。尚、それを記念してタイ米山学友会の設立も果たしました。

この米山記念奨学事業の特徴は、奨学生一人に対して「世話クラブ」が選ばれ、更にそのクラブの中からカウンセラーを選出して日常の相談相手となり、日本の文化に触れながら留学生活を送り交流をするシステムとなっております。

年間に送り出す奨学生は現在800人程ですが、事業費は14億円。国内では民間最大の奨学生に対する国際奨学事業であって、世界121か国、過去17,028名もの奨学生を送り出しています。

寄附金は、普通寄附金（年間4,000円）と会員から任意に寄せられる特別寄附金からとなっております。取り分け特別寄附金が60%以上を占めているのが現状であります。しかし、最近ではその寄附額も減少の一途を辿り、毎年1000人以上の奨学生を輩出していたにも関わらず今年度は800人、次年度は700人になってしまうようです。

米山記念奨学会に個人が寄付した場合税制上の優遇措置が受けられます。

○税額控除（所得税から直接差し引かれる）：
寄付総額-2000（上限は年間所得の40%）×40%=控除額
（上限は所得税額の25%）

○所得控除（課税前の所得から差し引かれる）：
寄付総額-2000（上限は年間所得の40%）×所得税率（課税所得により異なる）=控除額

又、法人として特別寄付をした場合は一般の寄附金損金算入限度額とは別枠で損金に算入することができます。

地区別に寄付実績をみると、第2820地区は2590地区（神奈川県横浜市・川崎市）、2770地区（埼玉県南部）に次いで第3位を維持しております。筑波大学をはじめ流通経済大学、茨城キリスト教大学など留学生を多く抱える大学が多いためだと思われま

奨学金のプログラムは、
学部課程（YU）：10万円 ※大学・大学院生対象の
修士課程（YM）：14万円 代表的なプログラムです

博士課程（YD）：14万円 791人が活用しています
地区奨励：7万円 短大・高専など
クラブ支援：14万円 現役奨学生の期間延長
世話クラブが半額負担
海外応募者対象：10万円 来日前の日本留学希望者が応募できる新制度
14万円 海外の学友会が募集・選考する。上級研究者助成
海外学友会推薦：14万円

皆さんにご協力願う寄附額は、

○第2820地区ガバナー目標：25,000円/一人
○長友会長クラブ目標：25,000円/一人

となっております。宜しくお願い致します。

プロジェクターでお見せしたように、この奨学金を使いその後社会で活躍している学友は数えきれません。今日お出でになった崔さんを含め9名のどの米山奨学生も皆素晴らしい人ばかりでした。その後、カウンセラーを中心に連絡を取り合っているケースも多く他のクラブでは見られない交流を現在も続けております。又、別紙のメールは、中国で活躍している于樹くんのもので、今の日中関係を心配して寄せてくれたものですが、短期間ではありましたが「絆」と「思いやり」を感じる内容であり、決してこのプログラムは無意味なものでなかったことをつくづく感じさせてくれます。人道的な奉仕に傾きつつある今の状況であって、教育的プログラムの必要性を本来のロータリーの活動の面からも考えさせられるこの頃です。

（横山会員）



出席状況

会 員	16名	出席率	68.75%
出 席 者	8名		
出席免除者	2名	Make-up	3名
(定款第9条3節a)	1名	椎塚・荒木・米島会員	

ニコニコボックス（目標額600,000円）

本日4件 8,000円（本年度累計150,000円）

海老原会員：崔さん。おめでとう！
川上会員：崔青花さん、佐藤さん、いらっしやい&おめでとう。
長友会員：ガバナー公式訪問。皆さんご苦労様でした。崔さんカップルようこそ。
横山会員：米山月間です。宜しくお願い致します。

例会の欠席は、水曜日 AM:10:00 までに 城出 SAA
TEL 0297-66-3258 に連絡して下さい。